

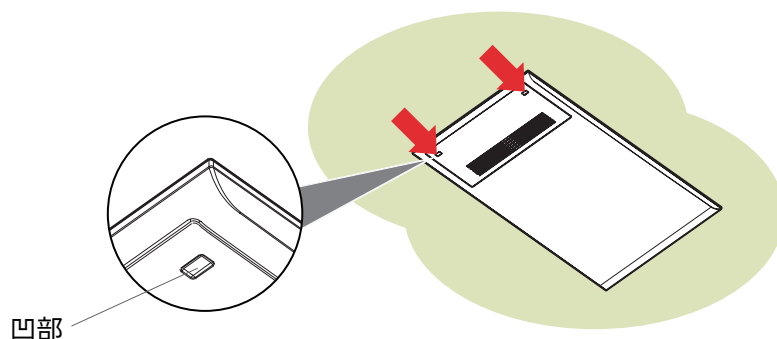
ES-1200DC-F1
ES-1200DC
ES-1200-F1
ES-1200



- 本体を水につけたり、水をかけないでください
 - 分電盤のブレーカーを切ってください。
 - フィルターのお手入れは定期的に必ず行ってください。
 - お手入れは機械を確実に停止してから行ってください。
 - 足元に注意し、手は手袋などで保護してください。
 - 取り外した部品の取り付けは確実に行ってください。
- ※ 詳細は取扱説明書にてご確認ください。

1. フィルターを取り外してください

- フィルターの取り出し口の凹部を押し、取り出し口を開けてください。

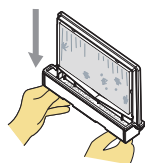


○ A フィルターの取り外し方

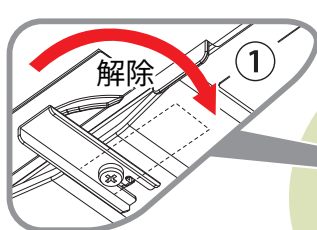
- ① フィルター枠の固定金具を解除してください。

- ② フィルター枠をゆっくりと本体から取り外してください。

* 勢いよく取り外すと虫やホコリ等が落下する恐れがあります。



- ③ フィルター枠からフィルターを取り外してください。



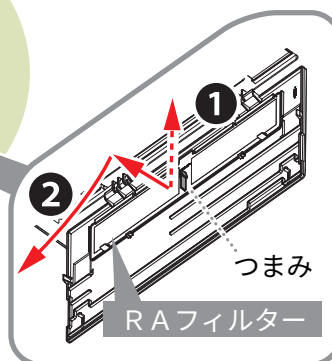
○ A フィルター

③

○ A フィルターの取り外し方

- ① つまみを持ち、少し上に持ち上げながら

- ② 手前に引き、取り外してください。



○ A フィルター

2. フィルターの清掃をしてください

○Aフィルター：「PM2.5 対策フィルター」「内部フィルター」いずれも消耗品です。

PM2.5対策フィルター

- フィルターを逆さまにして虫やホコリを落とすか、柔らかいブラシなどで表面を撫でるようにして落としてください。

*破損や機能低下の恐れがあるので掃除機や水洗いによるお手入れはしないでください。

*フィルター交換の目安は2年です。ひどく汚れが目立つ場合には、その時点で交換してください。



内部フィルター

- 掃除機でホコリを吸い取ってください。

- 汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かしてください。（自然乾燥）

*熱湯での洗浄、もみ洗い・絞り洗いはしないでください。

*乾かす際は直射日光に当てたり、火を近づけないでください。

*フィルター交換は押し洗い5～6回を目安にしてください。



R Aフィルター：破損した場合には交換してください。

- 虫やホコリを掃除機で吸い取ってください。



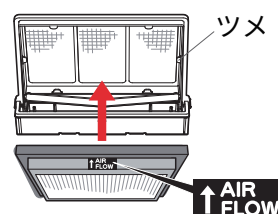
3. フィルター・フィルター枠を取り付けてください

- 各フィルターには取り付ける向きがあります。間違えないように注意してください。

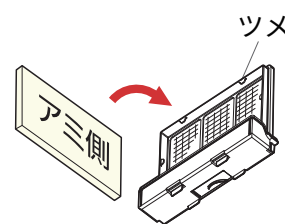
- Aフィルターは「ツメ」が見えるまでしっかりとフィルター枠に入れてください。

- フィルター枠は本体のレールに合わせて、ゆっくり・まっすぐ差し込み、フィルター枠固定金具で固定してください。

PM2.5対策フィルター

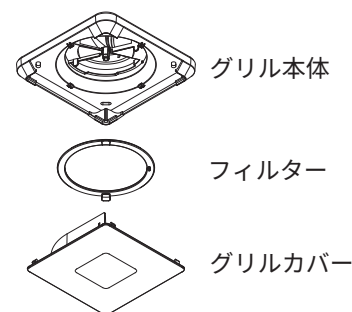


内部フィルター



副吸込グリルのお手入れ *設置されていない場合や、異なる形状のものが設置されている場合もあります。

- ①グリルカバーを取外してください。
- ②グリル本体内のフィルターを取外し、フィルターについているほこりを掃除機で吸い取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を適量に薄め、フィルターを浸してスポンジ等やわらかいものでやさしく洗ってください。
- ③布で乾拭きして、フィルターをよく乾かしてください。
- ④グリル本体内のツメにフィルターをセットし、グリルカバーを元通りに取付けてください。



交換用フィルター

*○Aフィルターは消耗品です。定期的な交換をおすすめします。



マックス公式通販サイト
住環境店舗MAX
ご注文はこちらから→



			品番	商品名	入数	交換の目安*
①-a	○A フィルタ	PM2.5 対策フィルタ	JG90254	ES-F106HG	1 枚	約 2 年
①-b		内部フィルタ	JG90204	VO105 スペアフィルタ	5 枚	押し洗い 5 ～ 6 回
②	R A フィルタ		JG90205	8300RA フィルタ	1 枚	破損時
③	フィルター枠		JG90277	フィルタ枠 (1200)	1 個	破損時

*使用環境・使用条件により異なります。【2025.06 現在】